

第9回連続講座『いのち』を考える ～悲嘆力～ 講師プロフィール(敬称略)

日程	講師	プロフィール
10/6 (火)	高木 慶子(たかき よしこ) 上智大学グリーンケア研究所特任所長  【演題】 悲嘆を乗り越える力	聖心女子大学文学部心理学科卒業。上智大学神学部修士課程修了。博士(宗教文化)。「生と死を考える会全国協議会」会長、「兵庫・生と死を考える会」会長。援助修道会会員。二十数年来、終末期にある人々のスピリチュアルケア、及び悲嘆にある人々のグリーンケアに携わる一方、学校教育現場で使用できる「生と死の教育」カリキュラムビデオを制作。幅広い分野で全国的にテレビや講演会等で活躍中。著書に『悲しんでいい - 大災害とグリーンケア』、『それでも人は生かされている』、『死と向き合う瞬間 - ターミナル・ケアの現場から』、『大切な人を亡くすということ』など。
10/13 (火)	水谷 修(みずたに おさむ) 花園大学客員教授、上智大学非常勤講師  【演題】 夜回り先生、いのちの授業 ～子どもたちの明日を求めて～	昭和31年横浜に生まれる。少年期を山形にて過ごす。上智大学文学部哲学科卒業。横浜市にて、長く高校教員として勤務。12年間を定時制高校で過ごす。教員生活のほとんどの時期、生徒指導を担当し、中・高校生の非行・薬物汚染・心の問題に関わり、生徒の更生と、非行防止、薬物汚染の拡大の予防のための活動を精力的に行っている。また、若者たちから「夜回り」と呼ばれている深夜の繁華街のパトロールを通して、多くの若者たちとふれあい、彼らの非行防止と更生に取り組んでいる。一方で、全国各地からのメールや電話による様々な子どもたちからの相談に答え、子どもたちの不登校や心の病、自殺などの問題に関わっている。その現場での経験をもとに、専門誌や新聞、雑誌への執筆、テレビ、ラジオなどへの出演、日本各地での講演などを通して、子どもたちが今直面している様々な問題について訴えている。
10/20 (火)	森 清顕(もり せいげん) 清水寺執事補、上智大学グリーンケア研究所非常勤講師、立正大学日蓮教学研究所研究員  【演題】 観音さまと共に生きる	昭和51年京都市東山区清水に生まれる。平成11年3月立正大学仏教学部宗学科卒業。平成17年3月立正大学大学院文学研究科仏教学専攻博士後期課程研究指導終了。平成17～20年立正大学大学院文学研究科研究生。現在は、北法相宗清水寺執事補、清水寺塔頭泰産寺住職、上智大学グリーンケア研究所非常勤講師。学位は、博士(文学)(立正大学・平成20年3月)。論稿に、坂詰秀一編『池上本門寺 近世大名家墓所の調査』(分担執筆)、『宗教研究』351号所収「日蓮撰『一代五時鶏図』の題号について」、『清水』第180～187号「観音経をよむ」など。
10/27 (火)	堀 早苗(ほり さなえ) あしや音楽療法研究会主宰、神戸女学院大学音楽学部講師、日本音楽療法学会認定音楽療法士 堀 彩(ほり あや) あしや音楽療法研究会特別研究員、日本音楽療法学会認定音楽療法士、甲陽音楽学院ミュージックセラピー専攻講師  【演題】 心によりそう音楽のちから ～穏やかに、さわやかに、ときに力強く～	緩和ケア病棟、ホスピス、在宅ケア、障がい児(者)施設などにおいて活動中。 ・堀 早苗 神戸女学院中・高等部を経て、同大学音楽学部ピアノ専攻卒業。平成8年より、あしや音楽療法研究会主宰。平成14年2月、兵庫県音楽療法士認定。兵庫県音楽療法士会初代会長を経て、同顧問(平成24年まで)、平成16年4月より、日本音楽療法学会評議員。平成19年3月、日本音楽療法学会認定音楽療法士認定。平成23年度兵庫県功労者表彰(福祉功労)受賞。兵庫県立西宮高等学校、神戸女学院大学、はくほう会医療看護専門学校各講師。甲陽音楽学院ミュージックセラピー専攻主任講師。 ・堀 彩 同志社女子大学学芸学部音楽学科文化専攻音楽療法コース第一期卒業。吹きくらべコンクール第3位入賞、和歌山コンクール奨励賞受賞等。あしや音楽療法研究会特別研究員。平成14年3月、日本音楽療法学会認定音楽療法士認定。
11/10 (火)	五百旗頭 真(いおきべ まこと) 公益財団法人「ひょうご震災記念21世紀研究機構」理事長、公立大学法人熊本県立大学理事長、神戸大学名誉教授  【演題】 大震災の喪失体験を通して考える「悲嘆」	京都大学法学部卒業、同大学院法学研究科修士課程修了。広島大学を経て神戸大学法学部教授。その間、ハーバード大学、ロンドン大学客員研究員、日本政治学会理事長などを歴任。平成18年、防衛大学校長に就任。平成23年、内閣府復興構想会議議長。平成24年、復興庁復興推進委員会委員長などを歴任。平成24年4月から現職。文化功労者。サントリー学芸賞、吉田茂賞、吉野作造賞などを受賞。著書に「日本政治外交史」、「米国の日本占領政策」(サントリー学芸賞)、「日米戦争と戦後日本」(吉田茂賞)、「占領期・首相たちの新日本」(吉野作造賞)など多数。
11/17 (火)	細川 佳代子(ほそかわ かよこ) NPO 法人勇気の翼インクルージョン 2015 理事長、公益財団法人スペシャルオリンピックス日本名誉会長  【演題】 インクルージョン ～共生社会をめざして～	上智大学英文科卒業後、1971年に細川護熙氏と結婚、政治活動を支える一方でボランティア活動に取り組む。1994年「スペシャルオリンピックス日本」を設立。知的障がいのある人の自立と社会参加を日常的なスポーツを通して実現する活動を行う。その理念を広げるため啓発活動を行いながら、2005年にユニバーサルスポーツである「日本フロアホッケー連盟」を設立。2007年には、障がいの有無などに関わらず、すべての人たちがその人らしく活き活きと命を輝かせていけることができる「インクルージョン(包み込む共生社会)の実現」を目指し「勇気の翼インクルージョン2015」を設立。現在、そのNPO法人の理事長として精力的に活動している。この他に、「認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会」理事長。また、知的障がいのある青年たちを追ったドキュメンタリー映画『able』、『Host Town』、『Believe』、『幸せの太鼓を響かせて～INCLUSION(インクルージョン)～』、『天心の譜』5作を製作・総指揮。著書に「花も花なれ、人も人なれ ～ボランティアの私～」。